



【東中学校】

<全学年：台北の中学生との異文化交流>



台北の介壽中学校との交流を行った。11月1・2日の2日間、台北から生徒28名が来校した。1日目はWelcome集会を生徒が企画・運営し、お互いの学校について紹介した。その後、日本の授業と一緒に体験し、書道や家庭科の調理実習、数学の授業等を通じて日



本の学校の様子を知ってもらった。また、うちわ作りも行い、互いのサインや台湾と日本のモチーフを取り入れたデザインを完成させた。一緒に給食を食べ、会話を楽しんだ。2日目は文化祭に参加し、合唱コンクールを見てもらったり、台湾の生徒には音楽を発表してもらったりした。英語での交流を通じて、1日目よりもスムーズに意思疎通ができるようになった。別れの際には涙を流す生徒もあり、短期間で深い交流が生まれた。異文化を肌で感じる貴重な経験となった。



<第3学年：「共生」について考える福祉学習>



「福祉」について学ぶとともに、体験を通して「共生」について考えることは、これからの社会において必要不可欠なことであると考え、「聴覚障がい理解」「視覚障がい理解」「肢体不自由理解」



「高齢者福祉」の四つのコースに分かれて、交流学习や調べ学習を行った。交流学习を通して、自身の視野を広げ、異なる立場や背景を持つ人々と効果

的にコミュニケーションを取る方法を学んだ。これにより、生徒たちは対話を通じて問題を解決する能力を向上させることができた。今回の学びを一時的なもので終わらせるのではなく、全ての人が安心して生活できる社会の実現に向け、日頃から様々な視点で物事を見て、多様性を尊重した行動ができる生徒を育成していきたい。

